

「認知症」についてお気軽にご相談ください！

物忘れがひどい / 場所・時間がわからない
判断・理解力が衰える / 不安感が強い / 意欲がなくなる

認知症は、さまざまな原因で脳の働きに不具合が起こり、6カ月以上にわたり生活に何らかの支障がみられる状態をいいます。市では「認知症の人をみんなで支えるまちづくり宣言」をし、認知症の方の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、次のような取り組みを行っています。

【見守り】QRで家族に連絡！

おでかけ見守りシール

認知症で行方不明になるおそれのある方や高齢者の安否確認、災害時の身元確認を早期に行えるようQRが印刷されたラベルシールを無料で配布しています。

対象者の衣類や持ち物に貼られたQRを読み取った際には、伝言板を通じて家族と連絡を取りあうことができます。



【見守り】いつでも居場所を確認！

GPS機器の提供

行方不明になるおそれのある在宅高齢者を介護する家族にGPS（全地球測位システム）を利用して所在を探索できる機器を提供します。



【交流】気軽におしゃべりしませんか？

認知症カフェ

認知症の方や介護する方がお互いに話し合い、介護の知恵を知ることができる場所です。

【カフェ de つえぎ】

月1回、中央公民館で開催しています。お気軽にご参加ください。
毎月第2日曜日 10:00~12:00



【支援】在宅での生活をサポート！

認知症初期集中支援チーム

認知症の方やその家族の在宅生活を支援します。保健師や社会福祉士が自宅などを訪問し、医療機関への受診や必要な介護サービスを勧めたり、生活改善に関する助言などを行います。



【知識】必要なサービスを一冊に！

認知症ケアパス

認知症の進行や状態に合わせて受けられる医療、介護、福祉サービスをまとめた冊子です。

地域包括支援課窓口で配布しているほか、市ホームページからもダウンロードできます。



【支援】認知症の方や家族を応援！

認知症サポーター養成講座

認知症の方やその家族を温かい目で見守り、支援するサポーターは、市内で6,345人います。

講座を受講しサポーターになられた方には「認知症サポーターカード」と「オレンジリング」をプレゼント！



【知識】楽しみながら、認知症を学ぶ

認知症フォーラム

認知症に対する理解と周知を図るために開催しています。

過去の動画は、こちらからご覧ください。



認知症に関する相談窓口は、地域包括支援課や市内9カ所の在宅介護支援センターとなっていますので、お気軽にご相談ください。

問い合わせ・相談先…地域包括支援課 内線2463